

Town Topics

まちの話題

話題・出来事など皆さんからの
情報をお待ちしています。
町民課 住民活動係
Tel 2・1213



先人の偉業を称えて 『栃木開基100周年』

4月21日、開基100周年を迎えた栃木地区で記念碑の除幕式が行われました。

明治44年4月21日、サロマ湖（現栃木）に足尾銅山鉱毒事件の被害者である栃木県下都賀郡民を中心とする約240名が集団移住し、開拓を始めました。当時の足尾銅山による被害は凄まじく、工場からの煙害などで山林は枯れ、水害が多発するだけではなく体の不調を訴える人が多発し、廃村となった村もあ

りました。そのため、移住をしてきた先人たちは、酷寒やあらゆる苦難に堪えながら、ただ広がる原野を切り拓き、安全で安心できる生活のために現在の栃木地区を開拓しま

された記念碑には「躍進」の文字と昭和61年に閉校した栃木小学校の校歌が刻まれています。

遠き親 苦しみひらき
うちたてし 心をつぎて
身をきたえ 強く明るく
いざわれら あらしに堪えん
(栃木小学校校歌から抜粋)

現在は、酪農、養豚を中心に佐呂間町農業の重要な地区である栃木ですが、先人の心を継いでどんな困難にも堪えて更なる「躍進」を誓い、閉式となりました。



上／躍進の文字が刻まれた記念碑
左／現在の栃木。原野だった場所が現在は畑となり農業の一端を担う地区に。下／先人に黙祷をささげる住民と挨拶する松浦自治会長



水難ゼロと豊漁を願って 『佐呂間水難救難所訓練大会・大漁祈願祭』



佐呂間漁業協同組合前にて水難救難訓練が実施されました。様々な事態を想定しての救助訓練が行われ、水難事故の防止に対する決意を再確認されました。引き続き行われた大漁祈願祭では、海上での安全と豊漁を願いました。

第4期 佐呂間町 総合計画

第4期佐呂間町総合計画
(平成23年度～32年度)
が始まりました。

青い湖と緑の大地 人が輝く未来のサロマ

第4期佐呂間町総合計画

は、私たちみんなのまちづくりの指針です。みなさんと力をあわせて、いきいきとした佐呂間町を築き上げるため、町政の基本的な指針を示すとともに、これからのまちづくりに必要な主な施策や事業を示しています。

ここに、本年度から始まり、まず第4期佐呂間町総合計画のあらましについてお知らせします。

計画の構成と期間

「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」によって構成されています。基本構想は、将来の町を目指す姿を示しています。基本計画は、期間を10年間とし、基本構想実現のための基本的な施策を体系化しています。実施計画は、基本計画にて示した施策を計画的かつ効率的に実施する具体的な事業を示し、前期・後期5ヶ年ごとに策定します。

地域づくりの 今後の課題

計画策定にあたっては、佐呂間町を取り巻く課題を十分に検討することが必要です。計画ではこうした課題を5つに整理しています。

- ◎人口
 - ◆若年層を主とした就労の場の確保やUターン事業などの受入対策
- ◎福祉
 - ◆地域における高齢者の就労

◎教育

- ◆安心してくらすことのできる地域社会の構築
- ◆介護・保健・医療の連携による「安心安全な福祉のまちづくり」の推進

◎産業

- ◆心身の教育と、学習支援の強化、相談体制
- ◆担い手育成と安定した生産供給体制、経営基盤の強化
- ◆購買力流出の抑止、経営の安定化

◎行政

- ◆恵まれた自然を活かした体験型・滞在型観光
- ◆近隣市町村との連携による広域観光
- ◆地方分権の推進による自主的な行政運営への取り組み
- ◆行財政改革を図るため、広域行政事務を視野に入れた対応

◎家庭・地域・学校との連携強化

◎心身の教育と、学習支援の強化、相談体制

◎担い手育成と安定した生産供給体制、経営基盤の強化

◎購買力流出の抑止、経営の安定化

想定人口

計画の最終年次となる平成32

年では、出生率の低下と社会的要因による減少から5,200人と想定しています。また、65歳以上の高齢者は、38・1%と高い割合を占めています。

サロマの将来目標

こうした課題を踏まえ、地域特性を活かした個性豊かなまちづくりを進めるため、新たな発想のもと、私たちが自ら考え、行動することが重要です。

この計画は、タイトルを「青い湖と緑の大地 人が輝く未来のサロマ」とし、自助・共助・公助による協働と環境を重視したすべての人にやさしい「まちづくり」を目指します。

※第4期総合計画に関する詳細は、今月号と共に配布されます。総合計画ダイジェスト版又は、役場企画財政課にて詳細版を閲覧することができます。

区分	基準年度 平成20年度		目標年度 平成32年度		
	総数	構成比	総数	構成比	
人口	0～14歳	702人	11.5%	577人	11.1%
	15～64歳	3,468人	57.0%	2,642人	50.8%
	65歳以上	1,918人	31.5%	1,981人	38.1%
	(うち75歳以上)	1,017人	16.7%	1,045人	20.1%
	総数	6,088人	100.0%	5,200人	100.0%

平成 23 年度の事業が始まり、‘あいいい、には子どもたちの元気な声が響いています。

4月に行った『赤ちゃん相談』、『お話あいいい』にも、たくさんの親子連れが来てくれました。これからも‘あいいい、では、お子さんの年齢に合わせた活動を行ったり、子育てに関するさまざまな情報をお伝えしていきます。

活動日や活動内容をご確認の上、お気軽にご利用ください。



相談も出来ます。

子育て自由相談日

今月は保健師相談日です。お子さんの成長や運動発達など、子育てについて困っていることや聞きたいことがありましたら、お気軽にご相談ください。

◎日程 5月12日(木) 10時～11時30分

*支援センターは自由開放です。相談のない方も遊びに来てください。

パパママたまご教室

今回は妊婦のみを対象に、‘妊娠中の食事について、を行います。対象者には案内ハガキを送付します。

◎日程 5月18日(水) 10時～11時30分

*参加される方は5月16日までに申し込んでください。

お話あいいい

今回は1・2歳児への保護者を対象に‘歯の大切さについて、のお話です。保健師から生活習慣との関係や、虫歯予防について話を聞きます。この機会にお母さんが正しい虫歯予防を知り、お子さんの歯を守りましょう。対象者には案内ハガキを送付します。

◎日程 5月25日(水) 10時30分～11時30分

*参加される方は5月23日までに申し込んでください。

6月の事業紹介

☆赤ちゃん相談(6月2日)

身長体重の計測や、子育てについての相談ができます。

☆お話あいいい(6月15日)

妊婦・0歳児保護者を対象に‘歯の大切さについて、の話。

☆あいいいらんど(6月29日)

夏ならではの風物詩‘流しそうめん、をみんなで楽しみます。

ご存知ですか？

「サロマゲンキマイレージ」

5月から「サロマゲンキマイレージ」がスタートします。子育て支援センターで実施する事業は『お話あいいい』、『あいいいらんど』、『赤ちゃん相談』、『子育て自由相談日』、『パパママたまご教室』が対象です。

各事業に参加される方は、ポイントカードをご持参ください。詳細については、折込みチラシをご覧ください。

佐呂間町の子育て支援事業は、保健福祉課・教育委員会社会教育課・子育て支援センターが連携して行っています。子育てに関する事業は、健康カレンダーに記載していますのでご確認ください。



大きくなったかな？計測中